

令和3年度
事業報告書

令和4年7月5日

学校法人YSE学園
横浜システム工学院専門学校

I 事業報告

新型コロナウイルス感染予防に留意しながら業務に取り組んだ年度であったが、関係教職員・講師並びに学生の協力により最小限の影響に抑えることができた。

教育面では、「教育は継続しなければならない」という使命を踏まえて、対面授業と在宅学習、分散授業、遠隔オンライン授業等の多様な教育方法を活用しながら、教育改革に取り組んだ。

理解度テストのオンライン化やアクティブラーニングを活用した授業の増加、デジタル教材の充実、教育方法の改革、産学連携教育の充実等は、教育の質向上に繋がった。

自己点検評価、学校関係者評価、内部監査は例年通り実施し、第三者評価（ISO29993）の申請を行い認証を受けた。

就職支援面では、工業専門課程の就職内定率は、公共職業訓練生に年齢の高い者が多いため例年就職内定獲得が思うに任せないが、そのハードルをクリアし、就職内定率100%を達成することができた。商業実務専門課程の就職先は、コロナ禍により求人のほとんどなくなった業界もあったが、就職内定率84%を達成できた。

学生募集面では、日本人学生の増加を目指して取り組んだが、目標を達成できたのはIT・ゲームソフト科のみであり、他学科については、大きな課題を突き付けられた。抜本的な対応策を講じてゆく。

留学生については、コロナ禍の影響が予想をはるかに上回り、入学者は、募集定員の1割であった。この悪影響を短期間のうちに解消できるよう知恵を絞ってゆきたい。

教育環境面では、昨年度に続き、教育内容に十分対応できる高性能PCの導入並びにネットワーク環境の整備・高速化を図り、実習環境の改善を図った。オンライン授業やオンライン会議等の遠隔対応にも慣れてきた。

一方、昨年度と同様に、新型コロナ感染予防の観点から、YSEフェスタはオンラインにより実施した。卒業式及び入学式は教職員のみ参加して実施した。学校行事であるスポーツデーや修学旅行、同窓会等の学校行事は見合わせた。

そのような中であって、教務管理システム“InfoClipper”やジョブ管理システム“ジョブカン”の活用により、教務事務や学校事務の効率化が進み、その分授業準備や学生指導に時間が使えるようになった。学生カルテの記載状況を見ると、バラツキがあるため、それを見て教務事務スタッフが入管等からの照会等に円滑に対応できる書き方をするよう徹底する。

業務面では、総務事務については、振り込み業務や諸機関への手続きの電子化を図り、業務効率を大幅に改善した。

次年度に向けては、産学連携による職業実践的専門教育のさらなる充実に努めてゆく。ITライセンス科（通信制）の運用改革、公共職業訓練講座の取り組みを進めてゆく。併せて、教育DX推進プロジェクトを立ち上げ、個別最適化教育の実現に向けて取り組んでゆく。

II 委員会等の開催状況

開催年月日	名 称	内 容
令和3年6月14日 令和3年7月26日	自己点検評価委員会 学校関係者評価委員会 教育課程編成委員会	ISO29993の監査基準に準拠 第1部 報告・検討事項 (1)令和2年度事業報告 (2)令和2年度産学連携教育実績報告 第2部 学校関係者評価 令和2年度自己点検評価報告書に基づく学校関係者評価 第3部 課程別分科会:産学連携教育充実方策について (1)工業専門課程分科会 画像認識 AI 活用によるゴミ分別アプリ企画のプロダクト化について (2)商業実務専門課程分科会 ネットショップ開設・運営に係る実践的スキル向上について 第4部 (1)課程別分科会報告 (2)質疑応答
令和3年10月27日	内部監査委員会	ISO29993 の監査基準に準拠 (1)改善要望事項説明書(2020年12月4日付)の改善要望事項で指摘されたオブザベーション及びコメントに対する状況及びその効果 (2) 改善要望事項説明書(2020年12月4日付)の改善要望事項で指摘された総評に対する対応状況及びその効果 (3)ISO29993 評価項目の達成状況及び取り組み状況
令和3年12月7日	教育課程編成委員会	第1部 報告・検討事項 (1)本校の近況報告及び討議事項について (2)設置学科の改廃及び原稿カリキュラムの改定(案)について (3)令和5年度カリキュラム(案)について 第2部 課程別分科会 (1)工業専門課程分科会 AI サービス活用科 令和4年度産学連携について (2)商業実務専門課程 グローバル IT ビジネス科 令和4年度産学連携について 第3部 (1)課程別分科会報告 (2)質疑応答
令和3年12月24日	第三者評価	ISO29993 に準拠した(株)JAMOTEC による外部監査

Ⅲ 業務報告

1. 学生募集状況

入学者数

学科名	定員	入学者数
IT・ゲームソフト科	40	48
IT・ゲームソフト科 (留学生)	20	12
ロボット・IoTソフト科	20	13
AI サービス活用科	20	9
ITライセンス科／4月生	20	11
グローバルITビジネス科 午前クラス	80	19
グローバルITビジネス科 午後クラス	80	0
合計	280	112

2. 就職内定状況

課程・学科別進路状況(令和4年3月31日現在)

		工業専門課程				商業実務 専門課程
		IG	RI	AI	小計	
卒業生		42	12	11	65	104
就職者	就職希望者	37	10	11	58	88
	内定者	37	10	11	58	74
	就職率	100%	100%	100%	100%	84%
	内定者/卒業生	88%	83%	100%	89%	71%
進学者		0	1	0	1	4
帰国		1	0	0	1	6
未内定・未希望		4	1	0	5	20

3. コンテストチャレンジ実績

- (1) 学生 IT コンテスト 2021
 - ① 神奈川県情報サービス産業協会主催 「学生 IT コンテスト2021」に本校から参加
テーマ「店内商品ナビゲーションアプリ(Follow me!)」で最終選考会まで残った。
- (2) 留学生スピーチコンテスト
 - ① 校内でコンテストを実施、2名を神奈川県専各主催のスピーチコンテストに推薦
 - ② 1月27日(木)に神奈川県専各主催の「第 33 回外国人留学生による日本語スピーチコンテスト」の運営担当校として会場設営から全体のマネジメントを行った。
なお、本校から出場した学生2名が、最優秀賞(横浜市長賞)並びに優秀賞(テレビ神奈川社長賞)を受賞した。

4. 情報基盤整備状況

- (1) インターネット回線の強化
 - ① ルータ(インターネット回線接続機器)強化
老朽化したルータ 1 台を上位ルータにリプレースした。
 - ② ルータ移設
B 号館 3F まで引かれていた光回線 2 本をともに A 号館サーバ室に引き直し、ルータ 2 台を A 号館サーバ室に移設した。
 - ③ 光回線高速化
移設した光回線 2 本を 1Gbps に変更した。
- (2) 校内 LAN(幹線部)の強化
 - ① A 号館 LAN(幹線部)の高速化
A 号館(幹線部)のネットワーク配線を 10Gbps 対応に入換工事をした。
 - ② B 号館 LAN(幹線部)の高速化
B 号館(幹線部)のネットワーク配線を 10Gbps 対応に入換工事をした
- (3) 新 PC リプレース
 - ① A21・A22・A23 ラボ用ノート PC75 台のリプレース
IG11、RI11、AI11 用ノート型ゲーミング PC を 75 台導入した。
- (4) ドメイン名の統一
本校が使用している 2 つのドメイン「yca.ac.jp」「yse.ac.jp」を「yse.ac.jp」に統一した。

以上